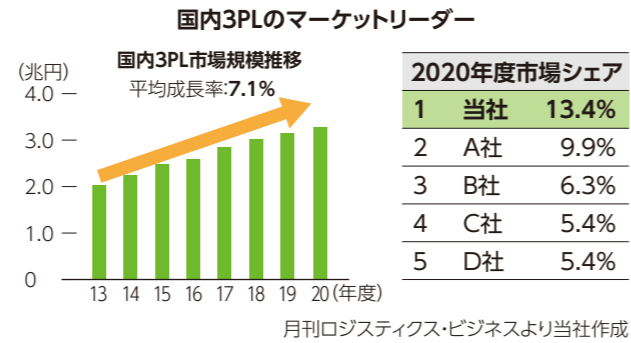


3PL事業(国内)

お客様のサプライチェーンのさまざまなステージにおける物流業務やその周辺業務について、包括的なアウトソーシングサービスと、それを支える卓越したIT・技術力により、サービス水準と物流効率の向上を可能にします。第一人者ならではの豊富なノウハウとコンサルティング力、各種インフラを駆使し、最適な物流ソリューションを提供するとともに、お客様やパートナーと、最新テクノロジーを活用した次世代物流技術の協創・実装に挑み続け、常に進化の歩みをリードしています。

市場における日立物流グループの位置づけ

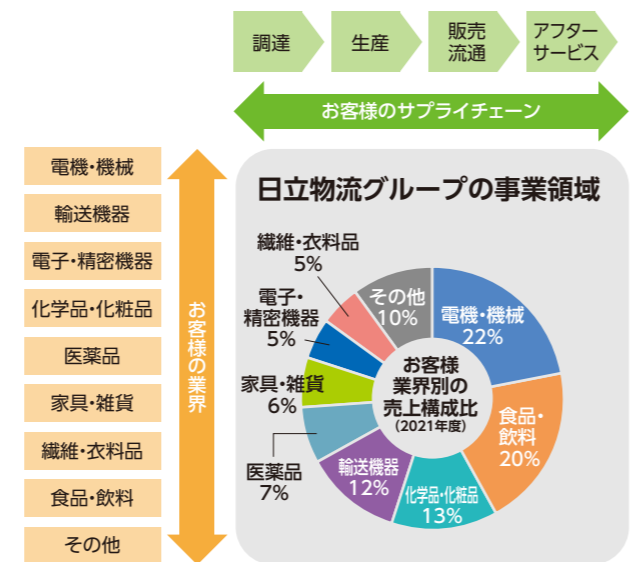
日立物流グループは、成長を続ける国内3PL市場において、幅広い業種・業界のお客様の企業物流業務を包括的に受託しているマーケットリーダーです(右図参照)。1980年代からサービスを提供する3PLの先駆者であり、豊富な実績に基づく提案力と、お客様を熟知したプロによる運営力で、日本のサプライチェーンを支えています。



主なサービス内容

- ・**調達物流**: 仕入れ品の引き取りから検収・保管・供給まで、一括で対応します。VMI^{※1}や部品の組立・塗装、生産ライン向けの配膳など、高付加価値なサービスを提供しています。
- ・**生産物流**: 資材・製品の管理・包装・発送など、製造工程におけるさまざまな物流業務を請け負います。包装のプロによる、製品特性・物流条件に応じた最適な包装ソリューションも提供しています。
- ・**販売物流**: 拠点配置、在庫水準の見直しなど、サプライチェーンの設計時から包括的に支援します。最新技術を駆使した高品質・高効率な物流設計、運営を行い、お客様の受注・販売拡大を支えています。
- ・**ソリューション**: 情報通信機器向けに物流とCE^{※2}を融合したサービスや、危険物・化学品向けの共同物流サービスなど、付加価値の高いソリューションを多数提供しています。

※1 VMI: Vendor Management Inventoryの略
※2 CE: Customer Engineerの略。情報通信機器の設定・動作確認などの作業を行う



2021年度の実績

業績

売上収益:
3,660億円(前年度比 ▲22億円)

営業利益:
221.4億円(前年度比 ▲9.9億円)

受注・立上
受注: **14件** 立上: **13件**

2021年度トピックス

- 2021年4月:** 物流センター内の指示機能を高度に自動化する「RCS (Resource Control System)」に関する特許取得 → P49-54
- 2021年5月:** 経済産業省の「DX認定事業者」に選定
- 2021年7月:** 第22回物流環境大賞「先進技術賞」を受賞
- 2021年9月:** 2021日本パッケージングコンテスト「経済産業大臣賞」「テクニカル包装賞」をダブル受賞 → P81
- 2021年9月:** AIを搭載した自動運転フォークリフトを活用し、トラック運行と連携させる共同実証事業を開始 → P36
- 2021年11月:** 「令和3年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞(有効活用部門賞)」を受賞 → P82

中期経営計画LOGISTEED2024の重点取り組み事例

製造と物流の境界領域における付加価値サービス(VAS)の拡大

当社グループは、「新たな付加価値による事業領域の拡張 (LOGISTEED (ロジスティード) の加速)」を中期経営計画の重点施策に掲げ、領域拡張を通じた事業価値のさらなる向上に取り組んでいます。付加価値サービス (VAS) の提供においては、日立グループや輸送機器メーカーなど、製造業のお客様向けに長年培ってきた工場物流の経験とノウハウを活かし、製造と物流の境界領域における価値創造の強化に注力しています。

製造業のお客様向けの付加価値サービス例

調達物流・VMI	製造業務サポート	包装ソリューション
原材料/部品の発注代行、VMI倉庫運営、資材提案、集荷・ミルクラン、JIT納品	検査、機器メンテナンス、組立、荷姿変換、塗装、輸送時製品分解、修理、工程管理	専用包装材開発、包装試験、包装資材調達管理

通常の物流サービスに加え、調達物流における発注代行やVMI倉庫の運営、生産ライン投入前の部品配膳作業、製造工程における組立作業や検査の請負、包装設計等の周辺サービスをワンストップで提供します。一例として、大手機械メーカー様向けの物流センターでは、サプライヤーから未塗装の状態でご入荷された部品を塗装・包装・梱包し、保守部品として納品できるようにするまでの一連の作業を当社グループが請け負うことで、お客様のコスト・納期の最適化に貢献しています。当社はお客様のサプライチェーン戦略全般におけるパートナーとして、物流を超えた価値提供をさらに強化していきます。



機械メーカー様向けの部品塗装作業

独自のトラックバス予約管理システムの開発・導入

当社グループは、「スマートロジスティクスの進化」と「ESG経営の基盤強化」を中期経営計画の重点施策に掲げ、事業を通じた環境価値・社会価値の創出を強化する取り組みを進めています。その一例として、当社は「ホワイト物流」推進運動に賛同し、WMS(倉庫管理システム)等と連動した独自のトラックバス予約管理システムの開発・導入を進めています。当社物流センターでのトラックへの積み下ろし作業について、予め作業時刻の予約とバスの割り当てを行うことで、従来発生していた無駄な荷待ち時間や渋滞の削減が可能となり、ドライバーの労働環境向上やトラックの有効活用、CO₂排出量の削減にもつながります。

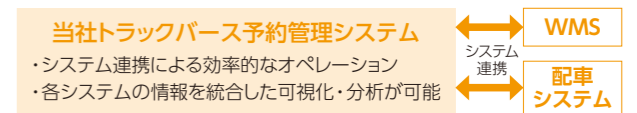
当社が開発・導入を進めるシステムは、一般的な機能に加え、既存のWMSや配車システムともデータを連携することで、別々に管理されがちな荷物・作業・車両・バス利用状況などの情報を統合し、より効率的なオペレーションと、実用的できめ細かい可視化・分析ができるようになることが特徴です。

既にモデル事業所向けのシステム開発・導入と検証を終えており、いわゆる「2024年問題」への対応も見据え、2023年度までに国内当社グループの重点事業所への展開を完了する計画です。

担当役員メッセージ

当社グループの3PL事業の強みであるDX・LT・現場力をさらに高め、事業価値を拡大していきます。デジタル技術を活用したサプライチェーンの課題可視化と解決や、フィジカルでの付加価値サービス(VAS)の提供により、お客様への経済価値提供を拡張すると同時に、スマートロジスティクスを一層進化させ、2024年問題への対応や脱炭素社会への貢献など、事業を通じた環境価値・社会価値の創出を強化していきます。

西川 和宏
執行役常務
東日本統括本部長
東日本営業本部長



荷待ち時間の削減

